



精神看護専門看護師紹介

心療内科・精神科外来看護師
福山友紀子

精神看護専門看護師の活動を紹介します。

通院または入院されている患者さん、ご家族の方が病を抱えることで生じた心の問題、悩みの相談を受けています。

看護師の方には、患者さん・そのご家族を中心とした医療が行われるように考えていきます。

また、医療スタッフが安心して仕事に取り組むことができるようにメンタルヘルス支援や、精神看護に関する教育に携わります。

総合病院で精神看護専門看護師が働く場合、リエゾン看護師と呼ばれる。「リエゾン」とは、フランス語の「つなぐ」という意味を指し、医療スタッフのそれぞれの力がより有効的に発揮できるように、医療スタッフ間の調整を行います。以上のような活動を院内で行っています。



プレおばあちゃん教室

おじいちゃんの参加も歓迎しております

日時：平成24年5月16日（水）、7月18日（水）
9月19日（水）、11月21日（水）

午後1時～3時

場所：母子保健相談室

対象者：お孫さんの育児にかかわる方

内容：赤ちゃんのお風呂の入れ方

お世帯の仕方を人形で体験

講義「最近の育児について」

講師：臨床心理士



受講料：3,150円

*お問合せ先：

母子保健相談室（内線 7125）



世界赤十字デー・看護週間イベント

武蔵野赤十字病院では、世界赤十字デーと看護週間に合わせて、地域の皆さまに赤十字を理解していただくためにさまざまなイベントを行います。

日時：平成24年5月19日（土）
午前10時～午後3時

場所：武蔵野赤十字病院
雨天決行 入場料無料

内容：コンサート、講演会、フリーマーケット、健康チェック
救急法、バルンアート、アロマセラピー
スタンプラリー、赤十字PRコーナー 他



*都合により内容が変更の場合があります。
お問合せ先：医療社会事業課（内線 7111）

第9回

武蔵野市地域医療連携フォーラム

日時：平成24年4月14日（土）
午後2時～午後4時30分 入場料無料

場所：武蔵野公会堂ホール（吉祥寺公園口丸井階り）

「健康長寿は丈夫な足腰から」と題し、武蔵野医師会・武蔵野市・武蔵野赤十字病院の共催で、医師・看護師・理学療法士・保健師の立場から、日常生活に役立つ課題発表とパネルディスカッションを予定しております。市民の方々の参加をお待ちしております。



お問合せ先：医療連携センター
担当：谷（PHS 8854）



武蔵野赤十字病院



No.32
2012年 春

〒180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
季刊 情報誌
発行 企画課



それぞれの季節の色を絵筆にしました。じっくり観察してなんとも色を重ねて丁寧に書きました。この作品は「いとすぎ学級」の子どもさんたちが描いたものです。「いとすぎ学級」は武蔵野赤十字病院に入院している小・中学生のための教室（院内学級）です。

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供する
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図る
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進める
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続する
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくる

院長に就任して



院長 丸山 洋

本年4月から富田博樹前院長の後任として院長に就任いたしました丸山洋です。武蔵野赤十字病院に勤務して通算25年目になります。今後も職員と共に地域住民の皆様が満足できる医療を継続していく所存です。

その為には

- ①医療の質と安全面で皆様が満足できる病院
- ②サービス面で皆様が満足できる病院
- ③地域・社会に貢献できるモラルの高い病院

であることを基本に今後の病院運営をしていきます。

当院は、611病床を有効活用することで充実した医療を提供することが可能であり、都心に近く豊かな自然に恵まれ優秀な人材が集まりやすい環境の病院です。

これらのメリットを十分に生かし、武蔵野赤十字病院が出来る医療を模索し、医師会及び行政機関の方々のご協力を得ながら、更に充実した地域医療が提供出来るように努力してまいります。これからも武蔵野赤十字病院をよろしくお願いたします。



お花見会

「武蔵野赤十字病院さくら会」は こんな活動をしています

武蔵野赤十字病院さくら会会長 蜂須賀 敏夫

糖尿病の仲間が糖尿病の治療に関する知識の習得と実践、相互協力と助け合いを基本とし、明るく前向きな闘病生活ができる様に「武蔵野赤十字病院さくら会（略称：日赤さくら会）」を設立して活動しております。

病院主催の「糖尿病教室」へ参加しての自己研鑽は勿論の事、会主催の体験学習（食事会、歩く会）を通じた実践の善積も因っており、食事会ではカロリー目算（器ごとのカロリー計算の理由付けが多種でなるほどと納得させられるもの、納得しかねるもの等々で大変勉強になります）や食前食後の血糖値推移確認においても各自のホルモンバランスの違いが浮き彫りになると、すかさず先輩諸氏の種苗祥聴タイムと化し、楽しい勉強の場となります。



食事会

周りに糖尿病の方がいらっしゃいましたら、一人で悩まずに仲間と一緒に明るく前向きに糖尿病生活を送るべく、ご紹介頂けましたら幸いです。

入会は随時受け付けておりますので下記までご連絡下さい。

お問合せ先：医療社会事業課（内線 7111）



糖尿病教室

診療科のご紹介

乳腺科



スタッフメンバー

部長 松田 実

乳腺科は、2008年5月に開設され、まもなく4年が過ぎます。乳房の良性疾患から悪性疾患までを診療している科です。

現在、女性のがんでは乳がんが最も多く、当科の診療も乳がんが中心になっていますが、良性疾患の手術も行っています。

乳腺専門の医師は2名ですが、乳がん診療は乳腺外科医のみでできるものではなく、診断から治療に至るまで多くの医師が協力しています。

乳房再建時には形成外科医に、放射線治療時には専門の放射線科医に、化学療法時には腫瘍内科医に、手術時には外科医、術後のリハビリテーションはリハビリテーション科のスタッフに協力をいただき診療しています。

また、乳がん看護認定看護師をはじめ、各部門に精通した看護師による患者さんのケアも行っています。

2011年5月に乳腺科の外来診察室を新設し、ソフトの面ばかりではなくハードの面も充実させています。診察室は2部屋になり、他に点滴などを行う処置室と患者さんとの話し合いを行う面談室を併設しています。診察室は診察に十分配慮した設計になっています。また最新の超音波の器械も設置致しました。これからも病々のみを治療するのではなく、個々の患者さん主眼を置いた最善の診療を行ってまいります。

今年1月、婦人科と乳腺科の患者さんとの合同の患者会が発足しました。患者さん主導の会ですが、有益な会になるように当科としてもできる限り協力いたします。

また、当科は2人主治医制を推進すべく近隣の医師の方々との医療連携にも力を入れていきます。さらにこの地域ではまだ不十分と思われる乳がんの啓発の活動にも努めてまいります。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。



最新器械 LOGIC 58



診察室